

2007

新年号



454



KOHO  
KAWACHI

広 報

かわち

迎春

本年も相変りませぬ  
よろしくお願い致します

平成十九年 元旦

河内町議会議員一同  
河内町役場職員一同



# 「住んでいる町から かわらめざして」



## 河内町長 野高 貴雄

新年 明けましておめでとございます。

輝かしい2007年の新春をご家族お揃いでお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、小泉首相から安部首相に政権が変わりまして、国内外に重要な政策が打ち出されるなか、教育基本法の改正、教育改革の具体化、学校のいじめ問題、原油高騰による物価上昇、北朝鮮の拉致、核実験問題、三位一体改革の推進等これまでにならな大きな問題が山積しております。

河内町の基幹産業でもあります農業、特に稲作については、昨年は天候に恵まれず、作柄は平年作でしたが、米価は3年連続で下落しまして、農家経済を直撃しております。第3

セクター（株）ふるさとかわちでは昨年同様の価格で買い上げをし、農業者支援のために努力をいたしております。昨年より「おかずのいらなにかわちのお米」に加えて、新しい品種で、茨城県産地品種銘柄に認定の「とねのめぐみ」も本格的な生産、販売を開始し、栽培しやすく、食味が良いと生産者、購買者から好評を得ております。長年にわたる地道なPR活動が実を結び、河内町で生産される米全体がブランドとして全国的にも大変有名になってまいりました。直販センターにおいても地元野菜は好評で売り上げが堅調に推移しており、会社は6期連続で黒字決算となっております。

昨年開通しました若草大橋により河内町が大きな変貌を見られることと思っております。今後も周辺のアクセス道路の早期完成と県道取手・東線の生板バイパスも早期着工を図るべく土木事務所との話し合いを進めてまいります。首都圏中央連絡自動車道は本年阿見東インターチェンジまで開通します。河内町内の用地取得が順調に進んでおり平成24年度には東関東自動車道まで開通が見込まれており、今後道路網の整備が進展するとさらなる町の活性化に結びつくことと思っております。

毎年行っている地域懇談会も12回目となりました。昨年は4会場で行

い多くの方に出席を頂き、ご要望、ご意見等を伺い、皆様の声をこれらの行政に反映をしております。長引く景気低迷の中、国民生活は大変な時代を迎えております。国並びに地方とも行財政の効率化が、緊急の課題となっております。河内町では行財政改革を進めるため、推進本部を設置し、『明るい・元気の出る・安心して暮らせる町政』を目指し、「住んでいる町から住みたい町へ」をスローガンに、生活環境の整備、福祉施策の充実を重要課題として各種の事業を推進し、財政運営面では、役場職員の定数管理、少子化に伴う学校の統廃合については、町民代表者による学校統合検討委員会を設置し、より良い教育環境と質の高い教育を目標に協議を始めました。また給食センターについては設備の更新をせず、今月より民間に委託します。安全面は厳しく点検し、継続して「おかずのいらなにかわちのお米」を主食に、これまでになかった汁物を加えた、安心で多様に富んだ給食の提供をまいります。これからも民間委託などによる経費削減を図ることに、足腰の強い行政運営を行ってまいります。

どうか皆さん方のご協力をお願い申し上げます。本年がより良い年でありませうとご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



河内町議会議長  
酒井 光 生

# 活力と希望みなぎる 住みたい町

新年 明けましておめでとうござ  
います。

平成19年の年頭にあたり、町議  
会を代表いたしまして、謹んで新年の  
ごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、ますますご清栄  
にて、よいお年をお迎えのことと心  
よりお慶び申し上げます。

私は、昨年9月の定例会におきま  
して議長に就任いたしました。議会  
の円滑な運営と町発展のため、誠心  
誠意努力してまいりたいと、決意を  
新たにしている次第でございます。

昨年は、11月の政府月例経済報告  
で、今回の景気拡大期は、高度成長  
期の「いざなぎ景気」を超えたとの  
判断を示しましたが、地域間等の格  
差が広がり、全体的には景気回復の

実感が伴わないものであります。

国際問題では、北朝鮮が7月にミ  
サイルの発射実験、10月には核実験  
を行いました。このような北朝鮮の  
ミサイルや核開発の脅威に対し、非  
道な国家犯罪である拉致問題も含め、  
大きな問題となりました。

明るい話題としては、2月の  
トリノ五輪でフィギュアスケートの  
荒川静香選手が金メダルを獲得した  
こと、9月には秋篠宮家に悠仁さま  
が誕生されたこと、12月にはカター  
ルでアジア大会ドーハ2006が開  
催され、日本選手の活躍が伝えられ  
ました。

さて、今日、厳しい雇用環境や人  
口減少、少子高齢化が急速に進展す  
る中、政治・経済・行財政全般にわ  
たり、構造改革という大きな変革が  
進められております。

このような中で、市町村において  
も、厳しい財政状況下で、市町村合  
併による自治体の再編や徹底した行  
政改革を実施しつつ、生活環境の  
整備や住民福祉の充実など、多様化  
する住民の期待に応え、安全・安心  
なまちづくりの実現を図ることが強  
く求められております。

河内町においても地方分権に対応  
できる行財政を確立し、多様化する  
住民ニーズに的確に対応することが  
できるようにするため、行財政改革  
を強く推し進めているところであり

ます。

議会といたしましても、議決機関  
として、将来の河内町のため、生き  
がいのある、より豊かな町づくりを  
目指して、分権時代に対応した議会  
の活性化、高齢化社会に即応した福  
祉施策の充実、道路交通体系の整備  
促進、地域経済の活性化等々の諸問  
題に対し、今後さらに創意工夫を重  
ね、町民の皆様の負託にこたえるべ  
く精一杯努力する所存でございます。

最後になりますが、皆様のご健康・  
ご多幸をお祈り申し上げますととも  
に、本年も議会に対し、相変わらぬ  
ご支援・ご協力を賜りますようお願い  
を申し上げます、新年のごあい  
さつといたします。



